

総合的な学習指導案

津山市立弥生小学校 4年3組 第3時
平成21年9月7日 授業者 尾崎 文雄

1 単元 著作権について考えよう(情報モラル)

2 単元の目標

著作物の大切さに気づき、著作物には著作権があることを理解することとともに、著作物を大切にする態度を育成する。

3 題材 キャラクターと著作権

4 題材について

著作権について初めての授業になる。著作権はモラルとルールという両面をもっている。著作権法というルールはあるが、根底には自分や他人の著作物を尊重するというモラルが存在するのである。

授業をするにあたって、小学校の段階では、ルールの面よりもモラルの面、心情面に焦点を当てていきたいと考えている。一方的な禁止教育にもならないように留意したい。

5 単元の指導計画 (2時間扱い・本時 1/2)

- 第1次 著作物には著作権があることを知ろう・・・・・・・・ 1時間 (本時)
- 第2次 著作権について考えよう・・・・・・・・ 1時間

6 児童の実態について

著作権については、初めての授業となる。著作権の授業を実施するにあたり簡単なアンケートをとった。

	すごく嬉しい	ちょっと嬉しい	ちょっといや	すごくいや
友だちが自分の絵や文をまねしたらどんな気持ちになりますか	1	2	16	6
友だちが自分の持ち物を勝手に使ったらどんな気持ちになりますか	0	0	12	14
	よくある	ときどきある	あまりない	全くない
友だちに自分の絵や文をまねされたことがありますか	5	6	8	7
友だちの絵や文をまねたことがありますか	0	4	10	12
	すごくいい	ちょっといい	ちょっと悪い	すごく悪い
友だちが絵や文をまねしたとき、まねされた友だちはどんな気持ち	1	1	10	14

7 本時の授業について

著作権とは、子どもにとって理解が難しい概念である。そのため、身近な著作物として小さな子どものキャラクターである「アンパンマン」を題材にする。「アンパンマン」にリボンをつけただけのキャラクターを考え、これを教師が自分のキャラクターとして売り出してもいいものかどうかを子どもたちに尋ねる。この部分は、小林幸雄氏の実践の構想追試である。(※1 ネット時代の心の教育 明治図書)

子どもの意見を聞いた後で、正解を告げる。内容は、実際にキャラクターを扱っている企業の方にお尋ねしたことが元になっている。

また、著作物への思いを感じ取らせるために、アンパンマンを世に送り出した作者の「やなせたかし」氏の思いを授業の中で紹介をしたい。

次に、アニメのキャラクターだけでなく、個人の著作物にも著作権があるのか考えさせる。実際にクラスの子どもが描いた絵を題材に、討論をさせたい。このとき、使用したいときは許諾を得ることも合わせて取り上げたい。

授業の中を通して、発問をした後はノートに理由を書かせて発表をさせるようにする。その時、どのような理由であっても子どもたちの意見を認め、評価をしていく。

8 本時案

○ 本時の目標 著作物には著作権があることを知り、著作物を大切にすることを養う。

学習活動	主な発問・指示・予想される反応	指導・援助の留意点
1. アンパンマンのイラスト見せ、キャラクターグッズについて尋ねる	アンパンマンが使われているグッズを知っていますか？	・自分の家にあるものも尋ねてみる
2. 自分が考えたという「アンパンちゃん」のイラストやグッズを見せる	「アンパンちゃん」見たいですか？	
3. 「アンパンちゃん」を売り出すことに賛成か反対かを尋ねる	「アンパンちゃん」を売り出すことに賛成ですか反対ですか 賛成・反対の理由も書きなさい 反対 ・ほとんどまねをしている ・創った人に悪い 賛成 ・少しでも違っていけばいい ・お金になりそう	
4. 「アンパンちゃん」についてアンパンマンを管理している団体の意見を紹介する	アンパンマンキャラクターを管理している会社の方に聞いてみました	
5. 著作権について説明をする	著作権「著作物に対して発生する権利」	・著作物・著作権について説明をする
6. 作者である「やなせたかし」氏の思いを知る	戦争を体験したやなせさんはお腹を空かせた人を助けるという正義のヒーローを考えたのです	・著作物の中には作者の思いが詰まっていることを知らせる
7. 個人の著作物には著作権があるか考える	著作権は、みんなが描いた絵や作文にもあるのでしょうか	ある・ない それぞれの理由を発表させる
8. 個人の著作物にも著作権があることを著作権情報センターの方に尋ねる	子どもが描いた絵や文章も著作権があります	・できれば直接、電話をかけて生の声を子どもたちに届けたい
9. 人の著作物を使いたいときはどうしたら良いのか考える	他人の著作物を使い時はどうしたいいのでしょうか	・子どもから許諾を得るといった意見を引き出すようにする
10. 許諾を得ることを知る	使っていていいですかと尋ねます	
11. 授業の感想を発表する	授業の感想を発表させる	・時間内でできるだけ発表させる

準備物 プロジェクター 電子情報ボード ノートパソコン ワークシート